

全建総連第70回大手建設・住宅企業交渉 10月17・18日

大手ゼネコン、CCUS登録を加速化

全建総連関東地協の企業交渉

10月17・18日の両日で795人の仲間が参加し午前中の集会、午後は39社のゼネコン・サブコン・住宅企業と交渉が行われました。

集会では、「元請の利益は倍増したにもかかわらず、賃金が上がっていない」「低賃金・労働条件で、建設職人になりたくても生活できないのでは若者は入職してこない」「元請企業として労務費を把握するなど、具体的な要求実現を迫ろう」との報告がありました。

また、処遇改善のためのCCUSの登録がすすんでいるかも各企業に求める行動となりました。

◆大成建設

CCUSカードリーダー600現場で設置。

事業者登録 2,100 社、技能者登録 33,000 人。1級職長 2,000 円/日、特級職長 4,000 円/日、1次も2次も手当支払い対象で、CCUS登録を前提にしている。

◆竹中工務店

CCUSカードリーダー72現場で設置。

事業者登録 2,267 社、技能者登録 9,111 人。

◆大林組

東京エリアはCCUSカードリーダー198 現場で設置。

事業者登録 1,800 社、技能者登録 10,402 人。

◆清水建設

全国 602 現場全てでCCUSカードリーダーを設置。

事業者登録 863 社、技能者登録 16,503 人、社内にCCUSサポートセンターを設置し取り組みを加速させていく。



戸田建設の現場でカードリーダー設置

◆戸田建設

CCUSカードリーダー93現場で設置、事業者登録 1,283 社、技能者登録 17,050 人。

◆三井住友建設

CCUSカードリーダー65 現場で設置。

事業者登録224社、技能者登録 5,370 人。

◆前田建設

CCUSカードリーダー23 現場で設置。

事業者登録 290 社、技能者登録 5,540 人。

◆長谷工コーポレーション

CCUSカードリーダー75現場で設置。

事業者登録 3,005 社、技能者登録 15,728 人。

◆大和ハウス工業

CCUSカードリーダー設置2現場。

職長有資格者 3,000 円/日支給、住宅技能者育成資金補助金制度(35歳以下、職種限定)があり、1人当月 7.5 万円、最長2年を事業所に支給している。

◆積水ハウス

独自システムを導入しておりCCUSは積極的に登録をすすめていない。

カードリーダー設置現場はゼロ。

竹中、長谷工で登録加速、竹中マイスターは登録必須

北支部の事業所(塗装)が登録、竹中工務店のマイスター制度はCCUSが必須に

「11月からは今までの竹中マイスター(2000円/日)の支給を受けるためには、CCUS登録を前提とする」とされたので組合に相談、11月13日に本部に来所し、事業所登録受付、今後、従業員の技能者登録を予定。鹿島建設でも同様の動きがあります。

文京支部では10月にCCUSとあわせ建退共加入の相談から組合加入し、CCUSでは竹中工務店で登録するよう要請があったとの情報提供がありました。

長谷工の事業者があい次いで登録

11月11日に板橋支部の事業所(設備)、12日に葛飾支部の事業所(設備)があい次いで本部で事業所登録を受付。ともに東京ガスの現場施工で長谷工コーポレーションが元請。1次事業者の協力会(約200人)が9月に会議を開催、11月中に登録を求めてきた。

同じく東京ガスの現場で施工する板橋の事業所の仲間は、ネット登録をしようとした協力会の事業所の多くは、「不備扱いで完了していない」、との話を聞き組合に相談。今後技能者登録をすすめる予定。

長谷工の従事者では中野支部でも一次請けの仲間が10月に組合未加入62人も含め87人参加でCCUS登録会を支部会館で開催しています。

葛飾支部でも10月に長谷工の2次請塗装工の個人事業所がCCUSで事業者登録、労働者も含めCCUSを通じて組合加入となりました。長谷工での登録が加速化しています。

調布支部、認定登録機関として奮闘

「建設ユニオンに行ったら土建の仲間は土建の窓口で登録をして下さい」と断られた仲間や、近隣の認定登録機関になっていない支部から誘導された他支部の仲間が来て、多数の登録件数があります。

支部担当者などからは、登録を待つ件数が40数件もある、受けないわけではないが、組

合員の登録は所属する支部で受付できるよう全支部が認定登録機関になってほしい、登録は15分から30分で終わる。どうしてうちの支部に来たのなどと対話し、仲間の働き方や事業所の実情がわかり、対象者もみつかると思うがどんどん時間すぎていく、とのこと。

本部方針通り、早期に全支部認定機関になるようお願いします。

また、調布支部では支部所属組合員であれば本部の2000円CCUS技能者登録助成に独自に2000円上乗せした制度を発足。さらに、技術センター主催の資格講習取得者には3000円補助制度をつくりました。資格取得を組合事業の柱のひとつに位置付けています。

各支部の動き

◆江戸川支部

11月8日時点で約40件の登録がまっている。登録が増える傾向にある。拡大月間では未加入事業所とCCUS登録でつながりをつくらうと対話、今後も対話行動をすすめる。

◆練馬支部

相談が増え、端末の増設を申請。

◆小金井国分寺支部

事業所がCCUSは業界に必要なとなると登録相談をきっかけに、10月下旬、認定登録機関開設を申請。

◆三鷹武蔵野支部

支部役員が必要性を強調し、仲間の登録相談をうけるなか、組合事業の柱にすべきだと、11月上旬、認定登録機関の開設を申請。

◆中野支部

定期的にCCUS事業所登録会を開催するため書記実務研修を12月11日に行う予定。

◆荒川支部

後継者で学習会 11月19日夜 約25人

◆多摩西部支部

書記実務学習会を実施 11月21日

◆調布支部

技術対策部会CCUS学習会 11月28日夜

◆台東支部

事業所CCUS学習名刺交換会 11月29日夜

◆東京都連で行われるCCUS学習の予定

- ・技対活動者会議12月5日1時30分～
- ・組織拡大推進会議12月23日1時30分～